

コロナ対策強め

市民のいのち  
くらしを守ります

はしづめ 明子

市議会議員

住みよい逗子のまちづくり  
みなさんと一緒にすすめます

日本共産党

22年2月・3月、日本共産党の政策を紹介します。



日本共産党逗子市委員会  
事務所 沼間2-15-4 ☎871-1321

3月27日  
逗子の政治戦

みなさんの願い実現へ  
市議会で働かせてください

市議会議員 **はしづめ 明子**



病でワクチンを接種できず毎日  
が不安。リハビリに通えず歩け  
なくなつた。副反応で仕事を休  
んだ。休業で収

援よろしく願います。

日頃よりの温かいご支援あ  
りがとうございます。  
新型コロナウイルスの拡大  
で、不安な毎日が続いていま  
す。第6波による市内の感染  
者も増加し、1408人。  
(2/11) 1月中の新規感染  
者は、251人と爆発的な感  
染拡大です。  
オミクロン株は非常に感染  
力が強いにもかかわらず、濃  
厚接触者は無料でPCR検査  
を受けることができせん。  
自宅療養、自宅待機では感染  
が広がるばかりです。  
市民アンケートでも、多く  
の声が寄せられています。持

入が減った。子どもの元気が  
ないなど深刻です。  
コロナ対策の強化が必要で  
す。共産党議員団は、市長と  
教育委員会に要請書を提出し、  
議会でも、PCR検査の拡充  
や学校の予防対策の強化、相  
談窓口や、逗葉地域に保健所  
を設置することを求めています。  
コロナ禍において、「生理  
の貧困」が社会問題となつて  
います。女性の尊厳に関わる  
問題です。そして、「貧困」  
の背景にジェンダーの問題が  
あります。性差別、ハラスメ  
ントをなくし、誰もが尊重さ  
れるように、実効性のある条  
例制定を求めます。  
近年の温暖化による自然災  
害の対策も待たなすです。  
引き続き、いのちと暮らしを  
守るために頑張ります。ご支

橋爪あきこプロフィール

- 逗子市新宿で育つ(旧姓佐々木)
- 逗子小、清泉女学院、東京デザイナー学院を卒業
- 82年から神奈川みなみ医療生協に勤務。逗子診療所設立に参加。ソーシャルワーカー、介護保険ケアマネージャーとして医療・福祉・介護の現場で働く
- 2002年初当選以来、市議5期目、監査委員、副議長、総務・教育民生常任委員会委員長、予算・決算委員会委員長など歴任。現在は、議会報編集委員会(委員長)、総務常任委員会に所属
- 家族 夫と2女
- 趣味 オカリナ
- 逗子市桜山2-1-54

